

危険予知訓練

でリスクアセスメント

危険予知訓練でリスクアセスメント

兵庫労働局作成

危険予知訓練とは

危険 KIKEN の **K**
予知 YOTI の **Y**
訓練 TRAINING の **T**

「作業に伴う危険を、前もって予知する、訓練」のことです。
略して KYT と言います。

この危険予知訓練を行うことで、事前に危険なポイントに注目することになります。その結果、安全な作業方法を確認しつつ、潜在意識にどこが危険かを入れておくことで、災害を未然に防ぐものです。

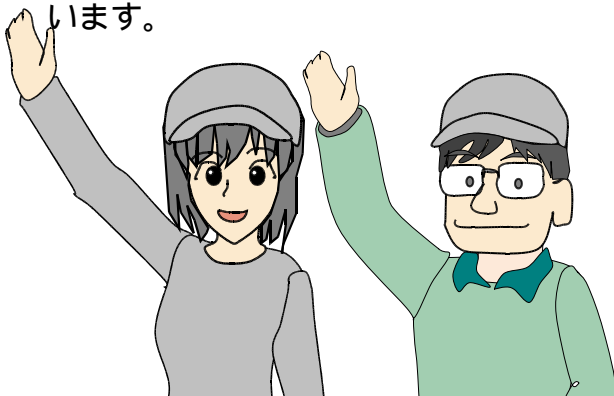
作業員ひとりひとりが出来る、安全活動のひとつです。

危険予知訓練をやってみましょう。

ここでは、いつも行っている作業について、**普段とは違う目線**……安全な作業かな？（危険はないかな？ケガはしないかな？）という目線で見てみましょう。

まず、普段の何気ない作業の風景を、写真やイラストで用意します。

作業を行う数人で集まって、その作業に潜む危険……事故の原因となるかもしれない**不安全な行動**、**不安全な状態** を出し合います。



- ・イスと棚が遠いので物を落とす。
- ・丸椅子なので回転して墜落する。
- ・物が大きいので落として当たる。……等



（些細なことでもためらわず出しましょう。災害の多くは非定常時に発生しており、些細と思えることほど重要であったりします。）

出し合った危険について、特に重要なものについて、事故を防ぐためにどうすべきか取り決め、共通の認識とします。



踏み台を使おう！
(踏み台を常備し、
使用を決めておく)

安全担当者へ

危険予知訓練を行う機会（安全活動や安全教育の時間）を設けてください。事業場内で、安全教育の機会を特に設けていない場合は、安全週間の際に実施するなど、定期的な実施を試みてください。

また、円滑に危険予知訓練やヒヤリハットなど安全活動を実施するには、普段から作業にまつわる安全や作業方法などについて社内で話せられる 会社の雰囲気・風土づくりが重要です。

踏み台を使ったほうが良いよ。



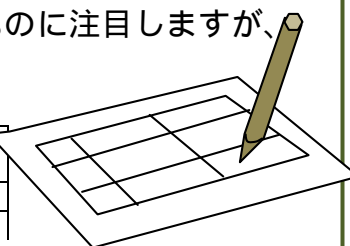
言ってくれて有難う！

リスクアセスメントへ

危険予知訓練の結果は、リスクアセスメントへ活用してください。出し合った危険をその作業にまつわる危険として、表に記録します。危険予知訓練では出し合った数多くの危険のうち重要なものに注目しますが、ここでは全てについて考えます。

棚おろし作業

危険源	災害の程度	災害の可能性	リスクレベル
丸イスが回転して墜落する	x		
取扱中に物が大きいので落ちて当たる。			



危険が顕在化し事故となった場合、その災害の程度 x、その災害が発生する可能性 x を、記載します。実際に危険予知訓練を実施した作業者とともに行うのも良いでしょう。

こうして出来た一覧のうち、災害の程度 x、災害の可能性 x など、リスクの高いものについて、優先的に対策を検討します。

危険予知訓練では、文字通り訓練であり、作業者ひとりひとりの危険に対する感受性を高めるものです。そのため、作業者がその場で対処できる行動（ソフトウェア）に重点を置いています。

リスクアセスメントでは、危険に対して優先度を決めて、根本から作業を変えたり、安全のための道具を用意したり、設備に安全装置を設けたり、ハードウェアに重点が置かれます。

- ・高い位置での作業をしなくて済むように、棚の上の物は下へ入れ替える。
- ・手すり付きの踏み台を常備できるように、購入する。